

2021年度

『授業改善のための学生アンケート調査』の
結果および評価報告書
(前期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	7
6. 教員返却用集計フォーム	9
II. 集計結果について	11
1. 全科目の単純集計結果について	11
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	14

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009～2019年度に引き続き（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施された）2021年度においては、開講されている全授業科目を対象にCoursePowerを利用したアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2021年度前期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：CoursePowerを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2021年7月16日（金）～8月5日（木）
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答21項目」「自由記述回答3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)%	(E)対象科目受講者数	(F)実施科目回答者数	(G)回答率(F/E)%
(1)異文化交流科目（語学）	19	19	100	306	127	41.5
(2)異文化交流科目 社会と文化（社会文化ゼミナール）	9	9	100	992	417	42.0
(3)異文化交流科目 社会と文化（社会文化ゼミナール以外）	17	17	100	207	76	36.7
(4)専門基礎科目	14	14	100	690	355	51.4
(5)専門関連科目	26	25	96.2	1,612	504	31.3
(6)商学科専門科目	23	21	91.3	633	213	33.6
(7)観光産業学科専門科目	17	15	88.2	424	91	21.5
(8)専門キャリアアップ科目	15	13	86.7	419	143	34.1
(9)教職に関する科目	9	9	100	111	27	24.3
合計	149	142	95.3	5,394	1,953	36.2

4. アンケート調査項目

Q1. この授業を選択した理由は何ですか。（必須）

- 5 興味・関心があったから
- 4 役に立ちそうだったから
- 3 卒業に必要だったから
- 2 時間が空いていたから
- 1 友人等に薦められたから
- 0 何となく

Q2. この授業への出席率は何%ですか。（必須）

- 5 80%以上
- 4 60%以上
- 3 40%以上
- 2 20%以上
- 1 ほとんど出席していない

Q3. 授業中（オンデマンド型授業を含む）、その時間内は集中できましたか。（必須）

- 5 大変集中した
- 4 ある程度集中した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり集中しなかった
- 1 全く集中しなかった
- 0 よくわからない

Q4. 授業のなかでわからないことがあれば質問しましたか。（必須）

- 5 よく質問した
- 4 ある程度質問した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり質問しなかった
- 1 全く質問しなかった
- 0 よくわからない

Q5. シラバスに学習時間（予習・復習）等の内容が記載されておりますが、当該科目の1週間の平均的な学習時間（予習・復習・課題）はどれくらいですか。（必須）

- 5 4時間以上
- 4 3時間以上4時間未満
- 3 2時間以上3時間未満
- 2 1時間以上2時間未満
- 1 1時間未満

Q6. 教員は十分な準備と熱意で授業を行ったと感じましたか。（必須）

- 5 十分な準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 4 準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 3 どちらともいえない
- 2 十分とはいえないと感じた
- 1 不十分であったと感じた
- 0 よくわからない

Q7. 教員が授業で話す言葉は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（必須）

- 5 非常に明瞭で聞き取りやすかった

- 4 明瞭で聞き取りやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり明瞭ではなかった
- 1 聞き取りにくかった
- 0 よくわからない

Q8. 授業の進行速度はどう思いましたか。(必須)

- 5 非常に良い
- 4 良い
- 3 普通
- 2 あまり良くない
- 1 良くない
- 0 よくわからない

Q9. 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。(必須)

- 5 非常によく補足した
- 4 よく補足した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり補足しなかった
- 1 まったく補足しなかった
- 0 よくわからない

Q10. 教員は、対面・遠隔授に応じて、黒板や視聴覚機器などを有効かつ適切に使用してましたか。(必須)

- 5 非常に有効かつ適切に使用していた
- 4 ある程度有効に使用していた
- 3 どちらともいえない
- 2 有効かつ適切ではなかった
- 1 不適切であった
- 0 よくわからない

Q11. (対面授業の場合) 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動を止めていましたか。(必須)

- 5 止めていた
- 4 ときどき止めていた
- 3 どちらともいえない
- 2 ほとんど止めていなかった
- 1 まったく止めていなかった
- 0 よくわからない

Q12. 教員は学生の質問に適切に対応しましたか。(必須)

- 5 非常に適切に対応した
- 4 ある程度適切に対応した
- 3 どちらともいえない
- 2 対応していなかった
- 1 まったく対応していなかった
- 0 よくわからない

Q13. レポートや課題、小テストは授業の理解に役立ちましたか。(必須)

- 5 非常に役に立った
- 4 ある程度役に立った

- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立たなかった
- 1 全く役に立たなかった
- 0 よくわからない

Q14. 試験回数や採点方法は適切でしたか。(必須)

- 5 非常に適切であった
- 4 ある程度適切であった
- 3 どちらともいえない
- 2 適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなかった
- 0 よくわからない

Q15. 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。(必須)

- 5 非常にわかりやすかった
- 4 ある程度わかりやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 わかりやすくはなかった
- 1 わかりにくかった
- 0 よくわからない

Q16. 授業内容はよく理解できましたか。(必須)

- 5 非常によく理解できた
- 4 ある程度理解できた
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり理解できなかった
- 1 全く理解できなかった
- 0 よくわからない

Q17. 授業展開はシラバス(講義概要)に沿ったものでしたか。(必須)

- 5 シラバスに沿ったものであった
- 4 おおむねシラバスに沿ったものであった
- 3 どちらともいえない
- 2 シラバスに沿った点は少なかった
- 1 シラバスに沿ったものではなかった
- 0 よくわからない

Q18. 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思われましたか。(必須)

- 5 非常に役に立つと思う
- 4 ある程度役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立つと思わない
- 1 全く役に立つと思わない
- 0 よくわからない

Q19. 授業は知的好奇心を刺激し、さらに学習の意欲をかきたてるものでしたか。(必須)

- 5 知的好奇心を強く刺激され、さらに学習の意欲もかきたてられた
- 4 ある程度知的好奇心は刺激された
- 3 どちらともいえない
- 2 知的好奇心は刺激されなかった
- 1 知的好奇心は全く刺激されなかった

0 よくわからない

Q20. 遠隔授業の場合、教員による遠隔授業の準備や運営方法は適切で学習しやすかったですか。(必須)

- 5 非常に適切で学習しやすかった
- 4 ある程度学習しやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなく学習しにくかった
- 0 よくわからない

Q21. 授業は全体として満足できるものでしたか。(必須)

- 5 非常に満足できた
- 4 満足できた
- 3 どちらともいえない
- 2 満足できなかった
- 1 まったく満足できなかつた
- 0 よくわからない

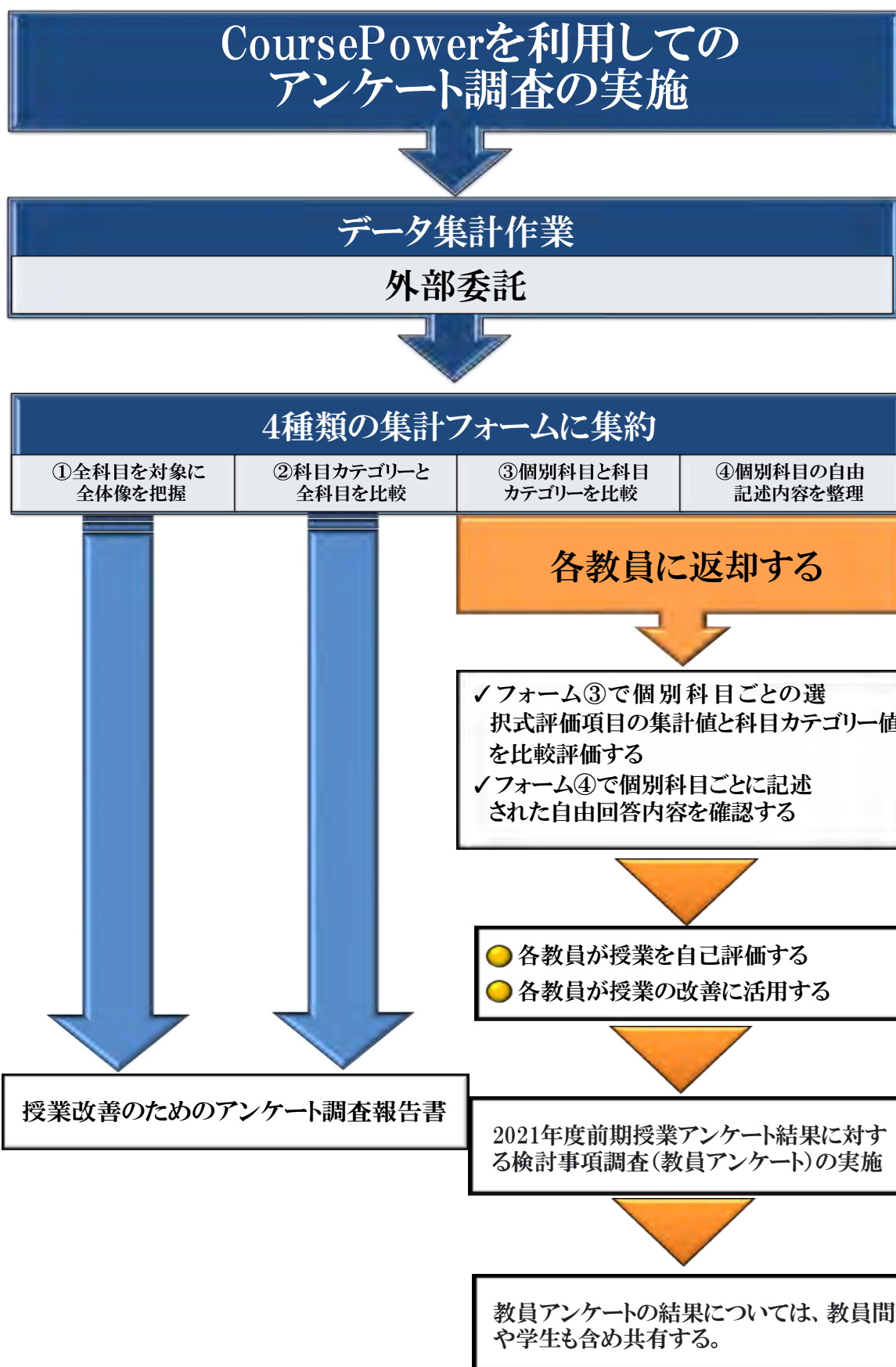
Q22. この授業で特に良かった点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q23. この授業で特に改善してほしい点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q24. その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。) ※300文字まで入力可

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

授業アンケート結果集計表

教員返却用集計フォーム③サンゾル

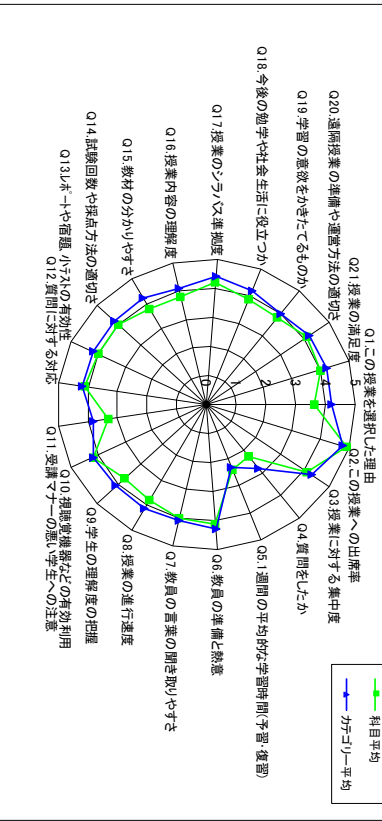
2021年度前期 北海道大学

教員名	〇〇〇〇	履修者数	88名
科目名	××××学	回収数	28枚
カテゴリ	▲▲▲▲	回収率	31.8%

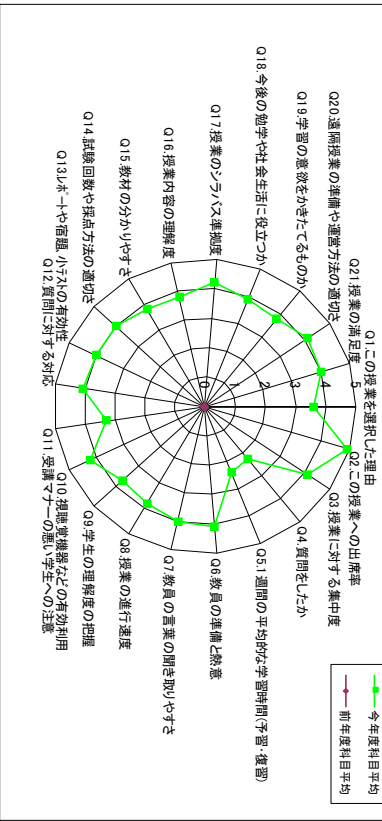
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					0 無回答	当科目 カテゴリ	下段・標準偏差
	5	4	3	2	1			
01. この授業を選択した理由	9 32.1%	5 17.9%	8 28.6%	3 10.7%	2 7.1%	1 3.6%	1 3.6%	4.2
02. この授業への出席率	24 85.7%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9
03. 授業に対する集中度	11 39.3%	12 42.9%	4 14.3%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.1
04. 質問をしたか	3 10.7%	0 0.0%	8 28.6%	6 21.4%	9 32.1%	2 7.1%	2 7.1%	2.3
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	1 3.6%	0 0.0%	9 32.1%	16 57.1%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	2.4
06. 教員の準備と熱意	12 42.9%	9 32.1%	5 17.9%	0 0.0%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	4.1
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	10 35.7%	10 35.7%	7 25.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.0
08. 授業の進行速度	7 25.0%	11 39.3%	9 32.1%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	3.8
09. 学生の理解度の把握	7 25.0%	7 25.0%	11 39.3%	0 0.0%	3 10.7%	2 7.1%	0 0.0%	4.1
010. 視聴覚機器などの有効利用	11 39.3%	11 39.3%	3 10.7%	0 0.0%	1 3.6%	2 7.1%	2 7.1%	4.2
011. 受講データの悪い学生への注意	3 10.7%	1 3.6%	12 42.9%	0 0.0%	1 3.6%	11 39.3%	0 0.0%	3.3
012. 質問に対する対応	9 32.1%	9 32.1%	4 14.3%	0 0.0%	1 3.6%	5 17.9%	1 3.6%	4.2
013. LP-トや宿題、小テストの有効性	9 32.1%	13 46.4%	5 17.9%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.0
014. 試験回数や採点方法の適切さ	8 28.6%	9 32.1%	5 17.9%	0 0.0%	1 3.6%	5 17.9%	1 3.6%	4.0
015. 教材の分かりやすさ	6 21.4%	14 50.0%	5 17.9%	1 3.6%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.2
016. 授業内容の理解度	6 21.4%	12 42.9%	8 28.6%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.1
017. 授業のシラバス準拠度	9 32.1%	17 60.7%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.4
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	5 17.9%	18 64.3%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.2
019. 学習の意欲をかきたてるものか	7 25.0%	12 42.9%	6 21.4%	2 7.1%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	3.8
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	7 25.0%	18 64.3%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.2
021. 授業の満足度	7 25.0%	16 57.1%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.2

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価リーダーチャート>



<評価値の経年変化>



自由記述一覧

2021年度前期 北海商科大学

教員名：

科目名：

Q22 この授業で特に良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	オンデマンド授業や課題などがシンプルにまとめられていて、非常に見やすいと感じました。
2	僕があまり携わったことのなかった分野だったので いろいろなことが知れて良かったです。
3	講義の初めに前回の課題の解答があった点。
4	講義動画内で使用されていたレジメをコースパワー上に載せてくださっていたところ
5	話すスピードがちょうど良くて、聞きやすかったし理解しやすかった。
6	苦手意識のあった○○学を再度学ぶことができたところ。

Q23 この授業で特に改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	提出した課題が未評価のまままで評価されているのか不安があったため、一言欲しかった。
2	教科書が高すぎる。

Q24 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。)

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

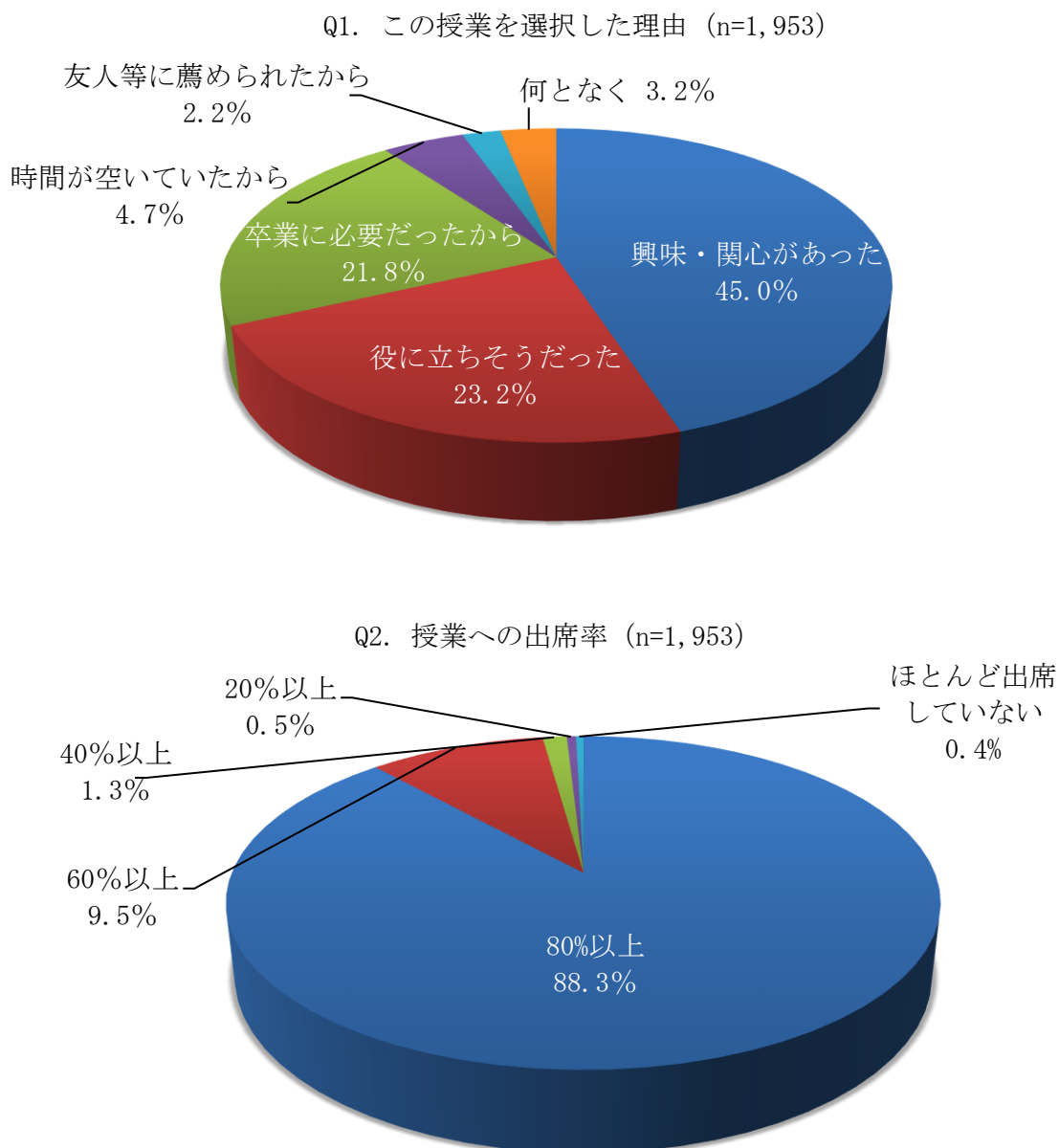


II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1. Q2.)



(2) 学生の受講姿勢 (Q3.～Q5.) と授業評価 (Q6.～Q21.) について

Q3.～Q5. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は遠隔授業の場合も含み全科目の平均で「4.3」と高い結果であったが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、「2.9」でQ3.に比較すると低い値であり、積極性に問題点がありそうです。一方、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」では、「1時間以上2時間未満」とした回答が39.0%と最も多く、以下「2時間以上3時間未満」が23.0%、「1時間未満」が22.6%と続き、「4時間以上」は回答者全体の7.2%に止まりました。このことから依然として全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4.とQ5.については、標準偏差が各々1.37、1.13であり、他の質問項目に比較して大きいことから、受講姿勢には個人差がみられます（p.13参照）。

Q6.～Q21.の授業評価については以下の通りです。「Q11.（対面授業の場合）受講マナーの悪い学生への注意」の平均値は「3.9」であり、標準偏差1.06より教員対応に偏りが見られます。「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」「Q8. 授業の進行速度」「Q9. 学生の理解度把握」「Q16. 授業の理解度」「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の平均値は「4.0～4.1」でした。「Q6. 教員の準備と熱意」「Q12. 質問に対する対応」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」の平均値は「4.3」と高く、その他の項目として「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」「Q15. 教材のわかりやすさ」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」「Q21. 授業の満足度」の平均値は「4.2」であった。「Q17. 授業のシラバス準拠度」の平均値は「4.5」と最も高い結果となりました。

なお、各回答のバラツキを表す標準偏差は、Q4. Q5. Q11. 以外は概ね「0.7～1.0」の近傍にあり、質問項目間で大きな差は認められません。

一方、Q22.～Q24.の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q22. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で476件（特に無しは除く）の回答がありました。また、「Q23. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに関しては、回答が266件（特に無しは除く）、「Q24. その他の意見・要望があればご記入下さい」については96件（特に無しは除く）の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

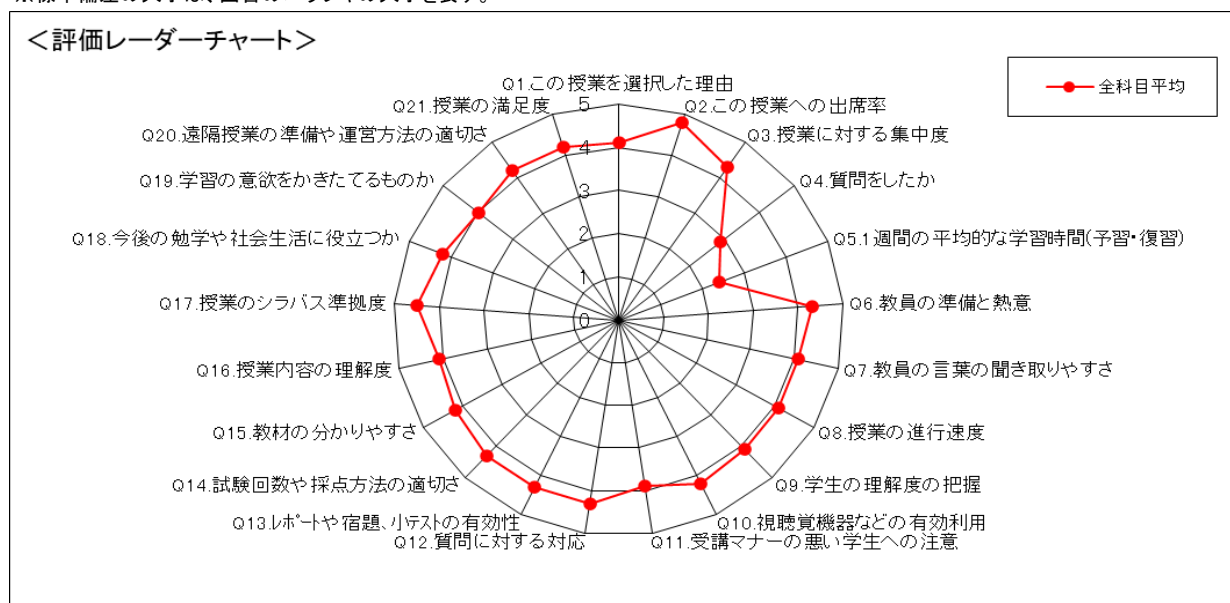
その後、2021年度前期授業アンケート結果に対する検討事項調査（教員アンケート）を実施し、その結果は、教員間や学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用しています。

項目別回答分布(人数と平均値・標準偏差)

上段:平均値
下段:標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	全科目
Q1.この授業を選択した理由	879 45.0%	453 23.2%	425 21.8%	91 4.7%	43 2.2%	62 3.2%	4.1 1.04
Q2.この授業への出席率	1724 88.3%	185 9.5%	26 1.3%	10 0.5%	8 0.4%	0 0.0%	4.8 0.49
Q3.授業に対する集中度	837 42.9%	842 43.1%	196 10.0%	46 2.4%	8 0.4%	24 1.2%	4.3 0.77
Q4.質問をしたか	274 14.0%	336 17.2%	524 26.8%	253 13.0%	450 23.0%	116 5.9%	2.9 1.37
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	140 7.2%	160 8.2%	449 23.0%	762 39.0%	442 22.6%	0 0.0%	2.4 1.13
Q6.教員の準備と熱意	939 48.1%	665 34.1%	234 12.0%	38 1.9%	22 1.1%	55 2.8%	4.3 0.85
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	817 41.8%	620 31.7%	307 15.7%	104 5.3%	38 1.9%	67 3.4%	4.1 0.99
Q8.授業の進行速度	767 39.3%	628 32.2%	440 22.5%	47 2.4%	19 1.0%	52 2.7%	4.1 0.90
Q9.学生の理解度の把握	705 36.1%	588 30.1%	410 21.0%	58 3.0%	23 1.2%	169 8.7%	4.1 0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	895 45.8%	607 31.1%	275 14.1%	44 2.3%	24 1.2%	108 5.5%	4.2 0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	469 24.0%	112 5.7%	475 24.3%	20 1.0%	25 1.3%	852 43.6%	3.9 1.06
Q12.質問に対する対応	795 40.7%	416 21.3%	316 16.2%	18 0.9%	10 0.5%	398 20.4%	4.3 0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	847 43.4%	768 39.3%	211 10.8%	40 2.0%	21 1.1%	66 3.4%	4.3 0.82
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	872 44.6%	590 30.2%	224 11.5%	32 1.6%	20 1.0%	215 11.0%	4.3 0.85
Q15.教材の分かりやすさ	853 43.7%	713 36.5%	218 11.2%	82 4.2%	33 1.7%	54 2.8%	4.2 0.92
Q16.授業内容の理解度	721 36.9%	878 45.0%	233 11.9%	82 4.2%	18 0.9%	21 1.1%	4.1 0.85
Q17.授業のシラバス準拠度	1027 52.6%	634 32.5%	154 7.9%	6 0.3%	8 0.4%	124 6.3%	4.5 0.70
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	852 43.6%	710 36.4%	246 12.6%	65 3.3%	25 1.3%	55 2.8%	4.2 0.89
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	663 33.9%	735 37.6%	346 17.7%	106 5.4%	49 2.5%	54 2.8%	4.0 0.99
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	894 45.8%	678 34.7%	232 11.9%	66 3.4%	24 1.2%	59 3.0%	4.2 0.89
Q21.授業の満足度	812 41.6%	758 38.8%	256 13.1%	68 3.5%	30 1.5%	29 1.5%	4.2 0.90

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

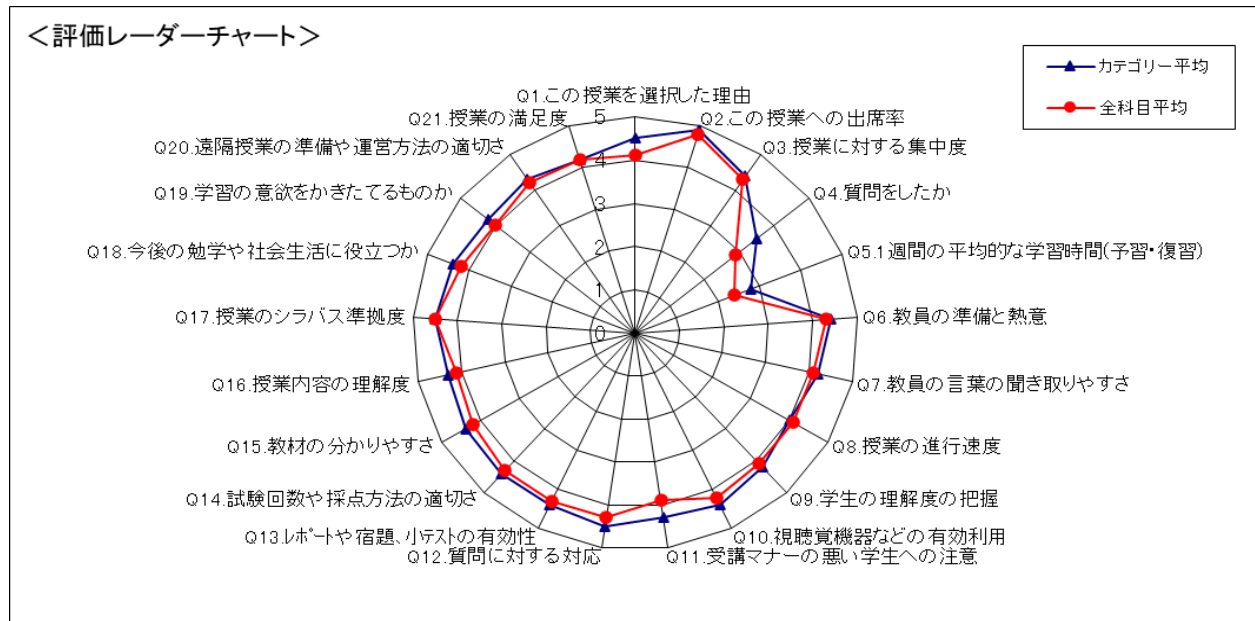
ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

集計表のレーダーチャートにみるように、異文化交流科目のうち語学における授業評価の全体的な傾向は、「全科目平均」よりもほぼすべての項目で、わずかではあるものの上回っています。ですが、「全科目平均」よりも顕著に上回っているというわけでもありません。「全科目平均」と比較して異なるといえる点は、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」、そして「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」であるでしょう。これらが目立った理由として、少人数クラスの利点を生かし、教員が質疑応答と反復練習とを重視し、概して双方向の授業を展開していることを挙げる事ができるでしょう。

回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段: 平均値 下段: 標準偏差	
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	76	33	14	1	0	3	4.5	4.1
	59.8%	26.0%	11.0%	0.8%	0.0%	2.4%	0.72	1.04
Q2. この授業への出席率	117	10	0	0	0	0	4.9	4.8
	92.1%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.27	0.49
Q3. 授業に対する集中度	66	50	7	2	1	1	4.4	4.3
	52.0%	39.4%	5.5%	1.6%	0.8%	0.8%	0.74	0.77
Q4. 質問をしたか	23	47	25	27	0	5	3.5	2.9
	18.1%	37.0%	19.7%	21.3%	0.0%	3.9%	1.03	1.37
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	12	22	37	39	17	0	2.8	2.4
	9.4%	17.3%	29.1%	30.7%	13.4%	0.0%	1.16	1.13
Q6. 教員の準備と熱意	67	49	8	0	1	2	4.4	4.3
	52.8%	38.6%	6.3%	0.0%	0.8%	1.6%	0.69	0.85
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	59	44	17	4	2	1	4.2	4.1
	46.5%	34.6%	13.4%	3.1%	1.6%	0.8%	0.91	0.99
Q8. 授業の進行速度	43	44	29	7	2	2	4.0	4.1
	33.9%	34.6%	22.8%	5.5%	1.6%	1.6%	0.97	0.90
Q9. 学生の理解度の把握	53	47	20	3	1	3	4.2	4.1
	41.7%	37.0%	15.7%	2.4%	0.8%	2.4%	0.85	0.93
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	67	45	11	1	0	3	4.4	4.2
	52.8%	35.4%	8.7%	0.8%	0.0%	2.4%	0.69	0.89
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	59	19	18	1	2	28	4.3	3.9
	46.5%	15.0%	14.2%	0.8%	1.6%	22.0%	0.94	1.06
Q12. 質問に対する対応	76	38	9	0	0	4	4.5	4.3
	59.8%	29.9%	7.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.63	0.87
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	62	49	9	2	1	4	4.4	4.3
	48.8%	38.6%	7.1%	1.6%	0.8%	3.1%	0.76	0.82
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	70	42	6	4	1	4	4.4	4.3
	55.1%	33.1%	4.7%	3.1%	0.8%	3.1%	0.80	0.85
Q15. 教材の分かりやすさ	67	48	7	2	2	1	4.4	4.2
	52.8%	37.8%	5.5%	1.6%	1.6%	0.8%	0.80	0.92
Q16. 授業内容の理解度	62	50	11	2	1	1	4.3	4.1
	48.8%	39.4%	8.7%	1.6%	0.8%	0.8%	0.77	0.85
Q17. 授業のシラバス準拠度	73	39	8	0	1	6	4.5	4.5
	57.5%	30.7%	6.3%	0.0%	0.8%	4.7%	0.69	0.70
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	71	43	7	3	1	2	4.4	4.2
	55.9%	33.9%	5.5%	2.4%	0.8%	1.6%	0.77	0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	52	53	8	7	2	5	4.2	4.0
	40.9%	41.7%	6.3%	5.5%	1.6%	3.9%	0.91	0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	61	45	12	7	1	1	4.3	4.2
	48.0%	35.4%	9.4%	5.5%	0.8%	0.8%	0.90	0.89
Q21. 授業の満足度	56	54	7	6	2	2	4.2	4.2
	44.1%	42.5%	5.5%	4.7%	1.6%	1.6%	0.88	0.90

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



自由記述においては特に際立つ大略的な意見を示すとすると、講義進行速度への受け取り方が受講者毎に異なる可能性、そして担当者の教え方が丁寧である（あるいはさらに丁寧すぎる）ことに集約されるでしょう。

最初にある科目を学ぶに際して必要とされる知識量という前提を理解しているか否かの学生間での隔たりが大きいといえます。特に、語学や数学などはその前提となる知識量を必要とし、その差が学習過程での進度の差を激しくする傾向があると考えられるため、その前提を受講者自らが理解しているか否かが意見の明確な違いとして現れているようです。

語学では語彙知識量と文法知識量とを網目状に組み合わせた複合的・重層的学習継続が重要である点を、まず理解してもらうべきでしょう。そのため、語学科目受講に際しては、心構えの根本的な違いがアンケートに色濃く反映されているとみえます。

<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール）>

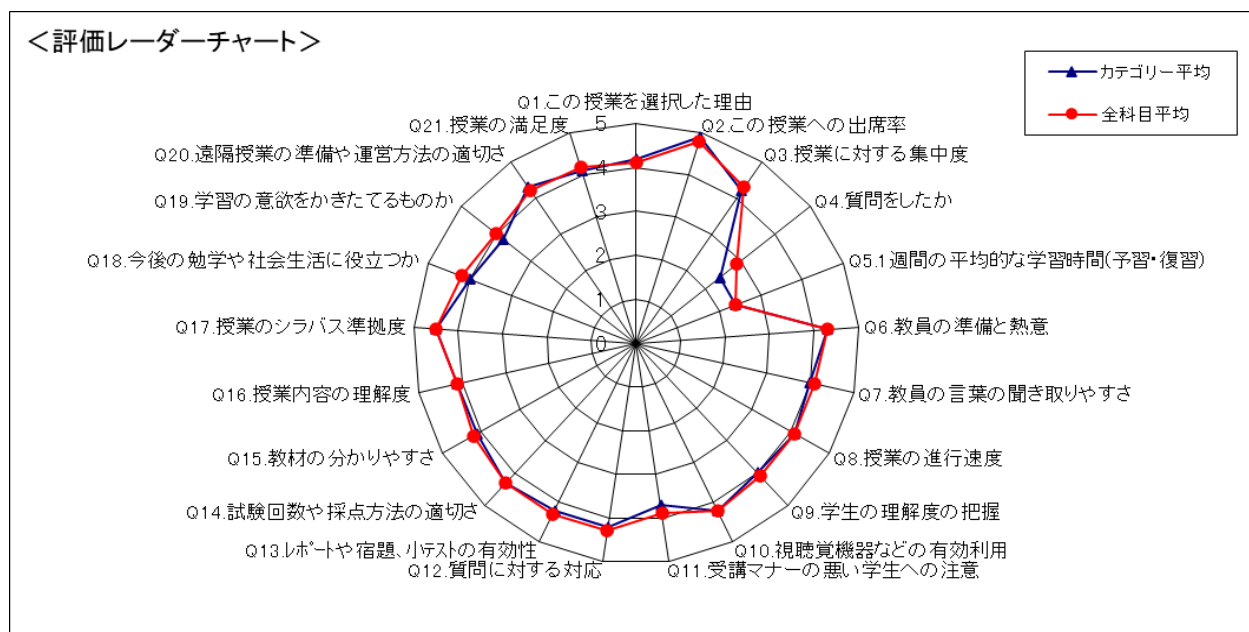
異文化交流科目のうち、「社会文化ゼミナール」だけを分析します。というのも、この科目は「社会と文化」の中で唯一のゼミナール科目であり、1年生ほぼ全員が履修するため、より精度の高い情報の抽出が必要と判断したためです。しかし、コロナ禍のためオンデマンド式オンライン授業となってしまうゼミナール本来の授業は難しかったこともあり、「全科目平均」と比較したレーダーチャートをみても、ほぼ平均と一致し大きな相違を示す項目はありません。対面授業となる来年度以降、特色がでることを期待しています。1年生がほぼ全員受講する講義のため、「Q2. この授業への出席率」や「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」は高い傾向にあります。学生・教員ともに熱意をもって取り組んだこと、教員がクラス間教員間の進度差をなくすよう統一的で公正な授業展開ができたことがうかがえます。課題としては、「Q4. 質問をしたか」「Q5. 1週間の平均的な学習時間」が低いことが挙げられます。慣れない1年生が気軽に教員に質問できる雰囲気を醸成していく必要性、また教員が課題以外に自主的に学習に取り組むよう学生に仕向ける必要性が求められています。ほぼ全員が履修する「社会文化ゼミナール」だからこそ、このような学びの習慣を身につけてもらえる絶好の機会となります。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	234	84	34	25	22	18	4.2	4.1
	56.1%	20.1%	8.2%	6.0%	5.3%	4.3%	1.17	1.04
Q2. この授業への出席率	367	43	5	1	1	0	4.9	4.8
	88.0%	10.3%	1.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.44	0.49
Q3. 授業に対する集中度	148	198	48	14	1	8	4.2	4.3
	35.5%	47.5%	11.5%	3.4%	0.2%	1.9%	0.78	0.77
Q4. 質問をしたか	46	39	95	51	152	34	2.4	2.9
	11.0%	9.4%	22.8%	12.2%	36.5%	8.2%	1.40	1.37
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	36	41	82	154	104	0	2.4	2.4
	8.6%	9.8%	19.7%	36.9%	24.9%	0.0%	1.21	1.13
Q6. 教員の準備と熱意	200	138	47	6	4	22	4.3	4.3
	48.0%	33.1%	11.3%	1.4%	1.0%	5.3%	0.82	0.85
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	167	136	67	22	12	13	4.0	4.1
	40.0%	32.6%	16.1%	5.3%	2.9%	3.1%	1.03	0.99
Q8. 授業の進行速度	157	156	75	13	1	15	4.1	4.1
	37.6%	37.4%	18.0%	3.1%	0.2%	3.6%	0.84	0.90
Q9. 学生の理解度の把握	131	109	100	11	5	61	4.0	4.1
	31.4%	26.1%	24.0%	2.6%	1.2%	14.6%	0.95	0.93
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	194	114	58	13	8	30	4.2	4.2
	46.5%	27.3%	13.9%	3.1%	1.9%	7.2%	0.96	0.89
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	62	8	98	1	7	241	3.7	3.9
	14.9%	1.9%	23.5%	0.2%	1.7%	57.8%	1.09	1.06
Q12. 質問に対する対応	135	43	78	1	2	158	4.2	4.3
	32.4%	10.3%	18.7%	0.2%	0.5%	37.9%	0.93	0.87
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	175	172	35	12	7	16	4.2	4.3
	42.0%	41.2%	8.4%	2.9%	1.7%	3.8%	0.86	0.82
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	176	118	50	6	8	59	4.3	4.3
	42.2%	28.3%	12.0%	1.4%	1.9%	14.1%	0.92	0.85
Q15. 教材の分かりやすさ	174	138	51	24	9	21	4.1	4.2
	41.7%	33.1%	12.2%	5.8%	2.2%	5.0%	1.00	0.92
Q16. 授業内容の理解度	130	204	46	25	4	8	4.1	4.1
	31.2%	48.9%	11.0%	6.0%	1.0%	1.9%	0.87	0.85
Q17. 授業のシラバス準拠度	229	122	30	1	0	35	4.5	4.5
	54.9%	29.3%	7.2%	0.2%	0.0%	8.4%	0.65	0.70
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	131	172	63	28	7	16	4.0	4.2
	31.4%	41.2%	15.1%	6.7%	1.7%	3.8%	0.96	0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	117	164	82	30	12	12	3.8	4.0
	28.1%	39.3%	19.7%	7.2%	2.9%	2.9%	1.02	0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	189	149	50	11	5	13	4.3	4.2
	45.3%	35.7%	12.0%	2.6%	1.2%	3.1%	0.87	0.89
Q21. 授業の満足度	162	172	51	12	10	10	4.1	4.2
	38.8%	41.2%	12.2%	2.9%	2.4%	2.4%	0.92	0.90

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール以外）>

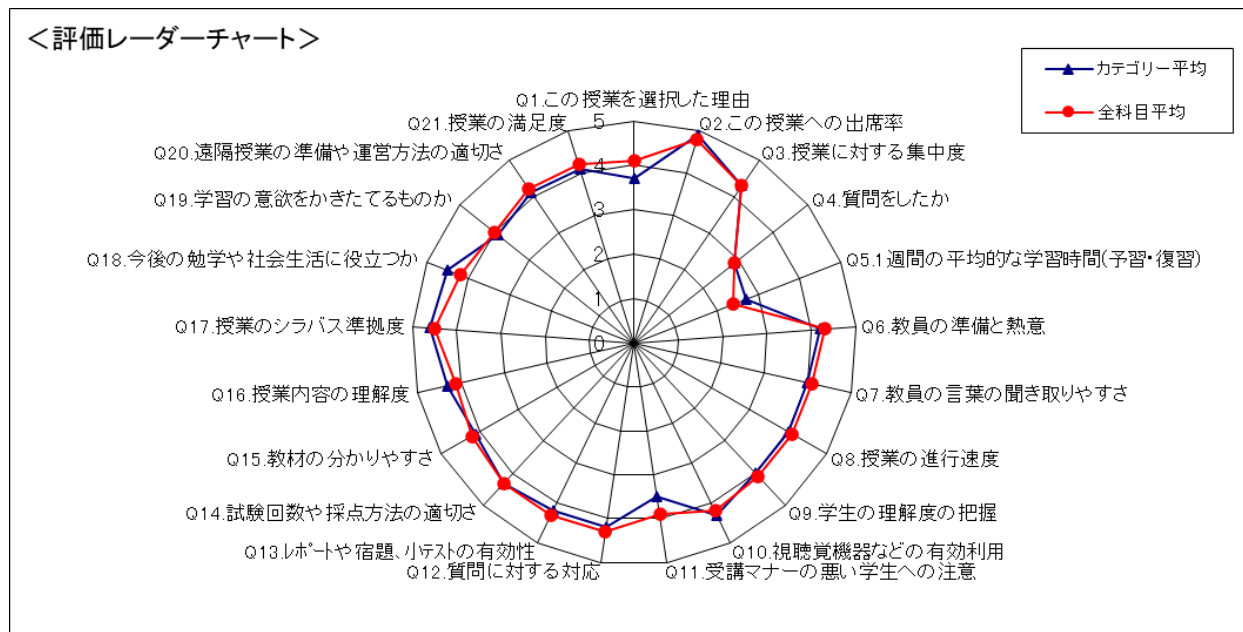
異文化交流科目のうち、「社会文化ゼミナール」以外の「社会と文化」についての科目に関するレポートとなります。すなわち、対象は講義形式の授業です。「全科目平均」と比較したレーダーチャートを見ると、ほぼ平均と一致し、大きな相違を示す項目はありません。その中で一番高いポイントは、「Q2. この授業への出席率」です。多くの受講生が1年生である、オンライン授業が増加したなどいくつかの要因が考えられますが、年々授業への出席状況はよくなっているようです。また、一方で「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」が悪い結果だったのも学生の真面目さゆえに、他の不真面目な学生の態度が許せず、それを注意しない教員へ注文ということになるのかもしれませんが。教員側がそのような学生の傾向を意識し、受講マナーを事前に丁寧に説明し、マナー違反はすぐに注意するようつとめなければなりません。また、「Q4. 質問をしたか」「Q5. 1週間の平均的な学習時間」の低さは改善すべき課題となります。主体的に学習し積極的に質問をする、自学自習を習慣化するなど、学生が入学間もない時期に身につけることができるよう教員の工夫が求められるでしょう。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	18	16	33	0	1	8	3.7	4.1
	23.7%	21.1%	43.4%	0.0%	1.3%	10.5%	0.90	1.04
Q2. この授業への出席率	72	4	0	0	0	0	4.9	4.8
	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.23	0.49
Q3. 授業に対する集中度	37	29	7	1	1	1	4.3	4.3
	48.7%	38.2%	9.2%	1.3%	1.3%	1.3%	0.81	0.77
Q4. 質問をしたか	8	19	19	6	18	6	2.9	2.9
	10.5%	25.0%	25.0%	7.9%	23.7%	7.9%	1.35	1.37
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6	10	28	17	15	0	2.7	2.4
	7.9%	13.2%	36.8%	22.4%	19.7%	0.0%	1.16	1.13
Q6. 教員の準備と熱意	33	29	7	4	1	2	4.2	4.3
	43.4%	38.2%	9.2%	5.3%	1.3%	2.6%	0.92	0.85
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	26	27	16	5	1	1	4.0	4.1
	34.2%	35.5%	21.1%	6.6%	1.3%	1.3%	0.97	0.99
Q8. 授業の進行速度	25	28	20	0	1	2	4.0	4.1
	32.9%	36.8%	26.3%	0.0%	1.3%	2.6%	0.85	0.90
Q9. 学生の理解度の把握	25	24	15	3	1	8	4.0	4.1
	32.9%	31.6%	19.7%	3.9%	1.3%	10.5%	0.95	0.93
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	36	27	6	3	1	3	4.3	4.2
	47.4%	35.5%	7.9%	3.9%	1.3%	3.9%	0.88	0.89
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	8	4	20	0	2	42	3.5	3.9
	10.5%	5.3%	26.3%	0.0%	2.6%	55.3%	1.04	1.06
Q12. 質問に対する対応	24	22	11	0	1	18	4.2	4.3
	31.6%	28.9%	14.5%	0.0%	1.3%	23.7%	0.85	0.87
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	31	30	11	0	1	3	4.2	4.3
	40.8%	39.5%	14.5%	0.0%	1.3%	3.9%	0.80	0.82
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	32	29	8	0	1	6	4.3	4.3
	42.1%	38.2%	10.5%	0.0%	1.3%	7.9%	0.78	0.85
Q15. 教材の分かりやすさ	30	28	11	3	1	3	4.1	4.2
	39.5%	36.8%	14.5%	3.9%	1.3%	3.9%	0.91	0.92
Q16. 授業内容の理解度	28	40	6	0	1	1	4.3	4.1
	36.8%	52.6%	7.9%	0.0%	1.3%	1.3%	0.72	0.85
Q17. 授業のシラバス準拠度	47	21	6	0	0	2	4.6	4.5
	61.8%	27.6%	7.9%	0.0%	0.0%	2.6%	0.64	0.70
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	45	23	6	0	1	1	4.5	4.2
	59.2%	30.3%	7.9%	0.0%	1.3%	1.3%	0.75	0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	23	27	19	2	3	2	3.9	4.0
	30.3%	35.5%	25.0%	2.6%	3.9%	2.6%	1.01	0.99
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	27	32	13	2	0	2	4.1	4.2
	35.5%	42.1%	17.1%	2.6%	0.0%	2.6%	0.79	0.89
Q21. 授業の満足度	28	30	11	2	2	3	4.1	4.2
	36.8%	39.5%	14.5%	2.6%	2.6%	3.9%	0.94	0.90

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<専門基礎科目>

全科目が必修である専門基礎科目（①経済システム理論Ⅰ、②経済と社会の仕組みⅠ、および③コンピュータ・リテラシーⅠ）に対する結果で、全評価項目の中で「全科目平均」をいくぶん目立って下回ったのは「Q1. この授業を選択した理由」でした。これ以外ですと、「全科目平均」とほぼ同様の分布を示していました。

そのため受講生個別の諸意見を自由記述の検討によって、本結果の評価を導き出そうとするべきかもしれません。

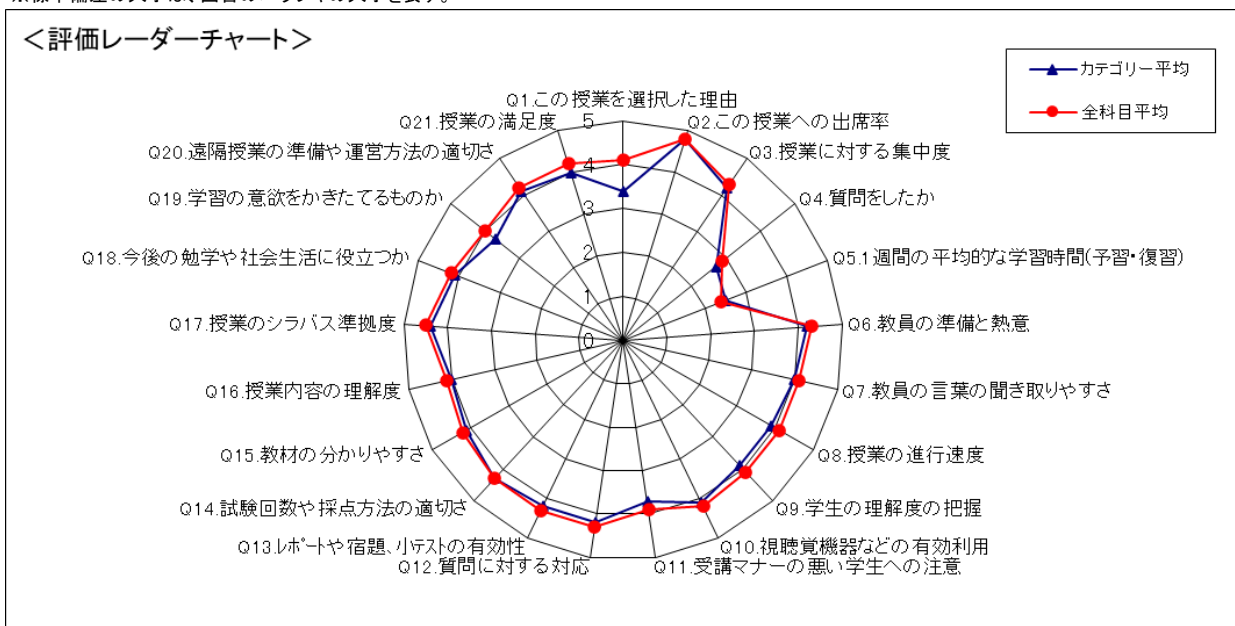
①・②ではシラバスの内容が同じですが、②については、クラス別の教員毎に授業内容が大きく違う点があるという指摘がありました。「…授業の内容の説明がわかりやすかったのが良かった点…」という記述もあることから、受講者の意見が両極端に振れがちでした。必修科目でありかつ担当者数が多い講義であるわけなので、担当者間の溝が埋まりきらないのであれば、近い将来科目再編の検討も選択肢としてありえるでしょう。

③の自由記述における受講生の反応は、概してすこぶる良好な結果といえます。ただし反面、初歩的な内容を授業で進行していく際には、すでに高校時代に周知の受講者もまま居り、該当の受講者は幾分不満に感じることもあるようです。この場合でも対面授業とオン＝デマンドとの併用は概して評判が良かったようです。逆に「…授業進行がとても早くパソコンの操作が追いつかないことがあった…」という記述もあり、そうなると、ありうる対応として、将来的に極初歩的な授業内容のみを1年次科目へおろすであるとか、1年次にオン＝デマンド教材を別途義務的に受講してもらっておくなどの方策もありうるでしょう。

このように自由記述欄の諸回答は、受講生のおのおのが大学授業に求める理想像の隔たりをよく映しているといえます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	58 16.3%	46 13.0%	237 66.8%	5 1.4%	1 0.3%	8 2.3%	3.4 0.79	4.1 1.0	
Q2.この授業への出席率	314 88.5%	31 8.7%	6 1.7%	2 0.6%	2 0.6%	0 0.0%	4.8 0.52	4.8 0.5	
Q3.授業に対する集中度	146 41.1%	149 42.0%	42 11.8%	13 3.7%	3 0.8%	2 0.6%	4.2 0.85	4.3 0.8	
Q4.質問をしたか	46 13.0%	49 13.8%	102 28.7%	51 14.4%	94 26.5%	13 3.7%	2.7 1.36	2.9 1.4	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	24 6.8%	41 11.5%	101 28.5%	127 35.8%	62 17.5%	0 0.0%	2.5 1.11	2.4 1.1	
Q6.教員の準備と熱意	157 44.2%	115 32.4%	53 14.9%	11 3.1%	8 2.3%	11 3.1%	4.2 0.96	4.3 0.9	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	138 38.9%	107 30.1%	58 16.3%	33 9.3%	10 2.8%	9 2.5%	4.0 1.10	4.1 1.0	
Q8.授業の進行速度	124 34.9%	103 29.0%	97 27.3%	12 3.4%	9 2.5%	10 2.8%	3.9 1.01	4.1 0.9	
Q9.学生の理解度の把握	111 31.3%	99 27.9%	89 25.1%	19 5.4%	9 2.5%	28 7.9%	3.9 1.04	4.1 0.9	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	140 39.4%	113 31.8%	63 17.7%	13 3.7%	6 1.7%	20 5.6%	4.1 0.96	4.2 0.9	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	73 20.6%	14 3.9%	95 26.8%	2 0.6%	8 2.3%	163 45.9%	3.7 1.11	3.9 1.1	
Q12.質問に対する対応	131 36.9%	65 18.3%	63 17.7%	5 1.4%	4 1.1%	87 24.5%	4.2 0.95	4.3 0.9	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	162 45.6%	126 35.5%	43 12.1%	11 3.1%	5 1.4%	8 2.3%	4.2 0.89	4.3 0.8	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	152 42.8%	114 32.1%	39 11.0%	7 2.0%	4 1.1%	39 11.0%	4.3 0.86	4.3 0.9	
Q15.教材の分かりやすさ	151 42.5%	122 34.4%	47 13.2%	18 5.1%	10 2.8%	7 2.0%	4.1 1.01	4.2 0.9	
Q16.授業内容の理解度	121 34.1%	150 42.3%	51 14.4%	22 6.2%	7 2.0%	4 1.1%	4.0 0.96	4.1 0.9	
Q17.授業のシラバス準拠度	174 49.0%	122 34.4%	28 7.9%	0 0.0%	4 1.1%	27 7.6%	4.4 0.75	4.5 0.7	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	154 43.4%	115 32.4%	54 15.2%	17 4.8%	8 2.3%	7 2.0%	4.1 0.99	4.2 0.9	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	96 27.0%	123 34.6%	79 22.3%	29 8.2%	15 4.2%	13 3.7%	3.7 1.09	4.0 1.0	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	157 44.2%	109 30.7%	47 13.2%	18 5.1%	10 2.8%	14 3.9%	4.1 1.03	4.2 0.9	
Q21.授業の満足度	129 36.3%	137 38.6%	59 16.6%	19 5.4%	9 2.5%	2 0.6%	4.0 0.99	4.2 0.9	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。



< 専門関連科目 >

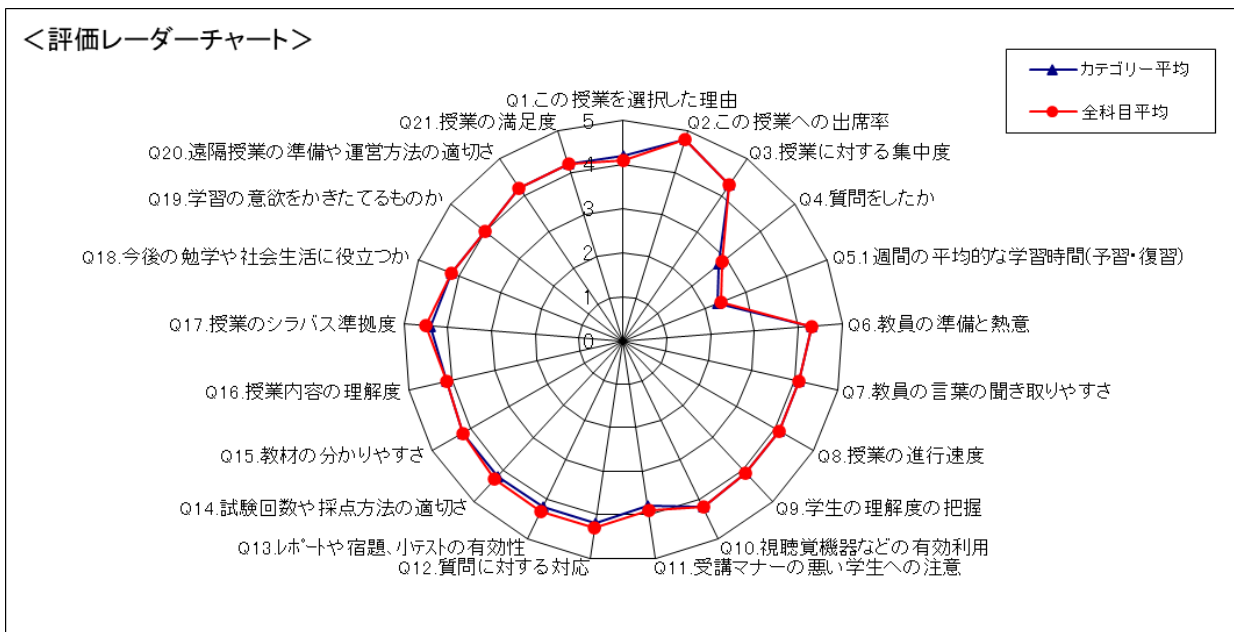
カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を上回る項目は、Q1.のみであった。カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を下回る項目は、Q4. Q5. Q11. Q12. Q13. Q14. Q17.であった。ただし、その差はいずれも0.1ポイントであり、大きな格差とはいえない。

カテゴリーの平均値がもっとも高いカテゴリーは、「Q2. この授業への出席率」の「4.8」であった。カテゴリーの平均値がもっとも低いカテゴリーは、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の「2.3」であった。すなわち、予習および復習が十分になされないまま、講義が進められていることを意味する。講義（シラバス）の到達目標には、1コマの授業に一定程度の予習および復習が「必要」であることを、教員、履修生ともに再認識する必要があると強く感じる。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー		
Q1.この授業を選択した理由	248 49.2%	141 28.0%	56 11.1%	33 6.5%	12 2.4%	14 2.8%	4.2	4.1	
Q2.この授業への出席率	437 86.7%	57 11.3%	4 0.8%	3 0.6%	3 0.6%	0 0.0%	4.8	4.8	
Q3.授業に対する集中度	219 43.5%	211 41.9%	56 11.1%	10 2.0%	1 0.2%	7 1.4%	4.3	4.3	
Q4.質問をしたか	73 14.5%	75 14.9%	153 30.4%	62 12.3%	116 23.0%	25 5.0%	2.8	2.9	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	35 6.9%	25 5.0%	110 21.8%	214 42.5%	120 23.8%	0 0.0%	2.3	2.4	
Q6.教員の準備と熱意	237 47.0%	165 32.7%	71 14.1%	14 2.8%	4 0.8%	13 2.6%	4.3	4.3	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	209 41.5%	146 29.0%	83 16.5%	25 5.0%	9 1.8%	32 6.3%	4.1	4.1	
Q8.授業の進行速度	200 39.7%	151 30.0%	123 24.4%	12 2.4%	3 0.6%	15 3.0%	4.1	4.1	
Q9.学生の理解度の把握	181 35.9%	150 29.8%	113 22.4%	12 2.4%	5 1.0%	43 8.5%	4.1	4.1	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	226 44.8%	146 29.0%	79 15.7%	9 1.8%	6 1.2%	38 7.5%	4.2	4.2	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	117 23.2%	19 3.8%	137 27.2%	4 0.8%	5 1.0%	222 44.0%	3.8	3.9	
Q12.質問に対する対応	217 43.1%	116 23.0%	86 17.1%	9 1.8%	2 0.4%	74 14.7%	4.2	4.3	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	205 40.7%	196 38.9%	67 13.3%	11 2.2%	4 0.8%	21 4.2%	4.2	4.3	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	203 40.3%	160 31.7%	62 12.3%	11 2.2%	4 0.8%	64 12.7%	4.2	4.3	
Q15.教材の分かりやすさ	210 41.7%	197 39.1%	58 11.5%	21 4.2%	7 1.4%	11 2.2%	4.2	4.2	
Q16.授業内容の理解度	183 36.3%	227 45.0%	66 13.1%	20 4.0%	4 0.8%	4 0.8%	4.1	4.1	
Q17.授業のシラバス準拠度	247 49.0%	171 33.9%	48 9.5%	3 0.6%	2 0.4%	33 6.5%	4.4	4.5	
Q18.今後の勉強や社会生活に役立つか	213 42.3%	192 38.1%	68 13.5%	11 2.2%	6 1.2%	14 2.8%	4.2	4.2	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	176 34.9%	193 38.3%	95 18.8%	22 4.4%	8 1.6%	10 2.0%	4.0	4.0	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	228 45.2%	177 35.1%	62 12.3%	19 3.8%	6 1.2%	12 2.4%	4.2	4.2	
Q21.授業の満足度	213 42.3%	179 35.5%	80 15.9%	20 4.0%	4 0.8%	8 1.6%	4.2	4.2	

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

自由記述では、良かった点をあげた回答が32件、改善を求める回答が13件であった。昨年のコロナ禍のなか非対面講義におけるさまざまな反省を踏まえて、今年度前期のオンライン講義については、教員もよりスムーズな運営に努めることができたことに加え、学生にとっても、オンライン講義が、ある程度抵抗なく受け入れている証と推察される。しかし、一方で、改善を求める回答のなかには、少数ながらオンライン講義への不満と、対面講義への再開を望む声があることも確認できた。



<商学科専門科目>

商学科専門科目平均は全科目平均と同じく「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、「80%以上」と回答したものが86.4%と多数にのぼりました。「60%以上」も9.9%おり、この両者で96.3%とほとんどを占めることとなっています。Q2.とは対照的に「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」が大変低いのも特徴で、「1時間以上2時間未満」が46.0%、次いで「1時間未満」が24.9%、「2時間以上3時間未満」が22.1%と続きます。学生の7割で予習・復習が2時間未満となっています。また「Q4. 質問をしたか」もQ5.に次いで低く、「どちらともいえない」25.4%、「ある程度質問した」24.4%、「全く質問しなかった」18.3%と7割近い学生は質問に消極的です。「よく質問した」は16.0%にとどまる結果となっています。

さらに商学科専門科目平均と全科目平均の項目別評価傾向を比較すると、「Q1. この授業を選択した理由」、「Q4. 質問をしたか」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q20. 授業の満足度」で僅かではあるが商学科専門科目平均が全科目平均を上回る結果となりました。逆に商学科専門科目が全科目平均を下回った項目は「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」で、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」は全科目平均と同水準でした。

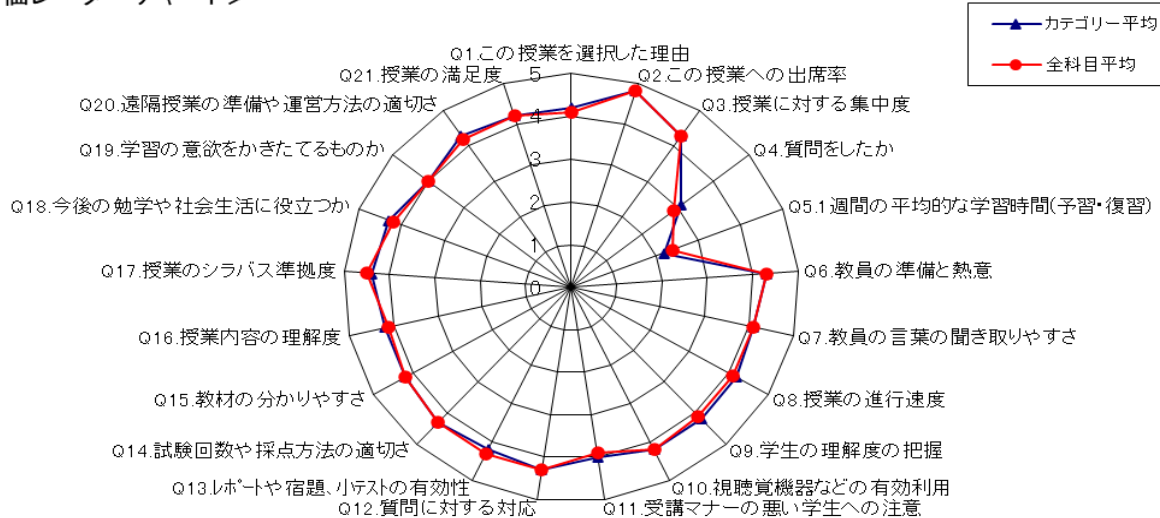
自由記述内容をみると「この授業で特に良かった点」では、「問題解答後の先生からのアドバイスやコメントが頂けたこと」、「補足の動画がわかりやすかったです」、「資料の説明がわかりやすかった」、「検定試験や今後社会に出た時に非常に役立つと強く実感した」といった事が挙げられています。「この授業で特に改善してほしい点」では、「1回の課題内容が重すぎて3時間では終わらないことがあった」、「新しい資格の形態に対応した授業をしてほしい」、「ダラダラとした進行」といった要望がありました。「その他の意見・要望」は、「1、2回目の対面授業が本当にわかりやすく、集中できる環境だったので良かったです。内容がかなり難しい授業だと思うので、コロナウイルスの関係で難しいのは理解していますが対面の授業だにより集中でき、理解が深まるのではないかと思います」、「就職後に必要な能力をある程度身につけることができた上に、楽しい雰囲気でも授業を受けることができたタイミングもあったので非常に満足です。ためになりました。今回単位を取ることができればもうゼミの単位は必要ないですが、来期も履修したいです」などがありました。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1.この授業を選択した理由	110 51.6%	56 26.3%	20 9.4%	14 6.6%	4 1.9%	9 4.2%	4.2 1.01	4.1 1.0
Q2.この授業への出席率	184 86.4%	21 9.9%	6 2.8%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	4.8 0.54	4.8 0.5
Q3.授業に対する集中度	89 41.8%	100 46.9%	18 8.5%	2 0.9%	0 0.0%	4 1.9%	4.3 0.67	4.3 0.8
Q4.質問をしたか	34 16.0%	52 24.4%	54 25.4%	20 9.4%	39 18.3%	14 6.6%	3.1 1.35	2.9 1.4
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	9 4.2%	6 2.8%	47 22.1%	98 46.0%	53 24.9%	0 0.0%	2.2 0.97	2.4 1.1
Q6.教員の準備と熱意	100 46.9%	76 35.7%	30 14.1%	3 1.4%	1 0.5%	3 1.4%	4.3 0.80	4.3 0.9
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	77 36.2%	74 34.7%	40 18.8%	10 4.7%	2 0.9%	10 4.7%	4.1 0.93	4.1 1.0
Q8.授業の進行速度	86 40.4%	68 31.9%	48 22.5%	2 0.9%	1 0.5%	8 3.8%	4.2 0.85	4.1 0.9
Q9.学生の理解度の把握	86 40.4%	67 31.5%	40 18.8%	5 2.3%	1 0.5%	14 6.6%	4.2 0.87	4.1 0.9
Q10.視聴覚機器などの有効利用	89 41.8%	71 33.3%	40 18.8%	3 1.4%	1 0.5%	9 4.2%	4.2 0.83	4.2 0.9
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	67 31.5%	25 11.7%	50 23.5%	6 2.8%	0 0.0%	65 30.5%	4.0 0.98	3.9 1.1
Q12.質問に対する対応	87 40.8%	63 29.6%	36 16.9%	0 0.0%	0 0.0%	27 12.7%	4.3 0.77	4.3 0.9
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	81 38.0%	88 41.3%	30 14.1%	3 1.4%	0 0.0%	11 5.2%	4.2 0.75	4.3 0.8
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	100 46.9%	60 28.2%	34 16.0%	2 0.9%	0 0.0%	17 8.0%	4.3 0.79	4.3 0.9
Q15.教材の分かりやすさ	90 42.3%	84 39.4%	23 10.8%	7 3.3%	2 0.9%	7 3.3%	4.2 0.85	4.2 0.9
Q16.授業内容の理解度	83 39.0%	88 41.3%	32 15.0%	6 2.8%	1 0.5%	3 1.4%	4.2 0.82	4.1 0.9
Q17.授業のシラバス準拠度	112 52.6%	72 33.8%	20 9.4%	1 0.5%	1 0.5%	7 3.3%	4.4 0.73	4.5 0.7
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	95 44.6%	76 35.7%	28 13.1%	3 1.4%	0 0.0%	11 5.2%	4.3 0.76	4.2 0.9
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	80 37.6%	73 34.3%	41 19.2%	8 3.8%	5 2.3%	6 2.8%	4.0 0.98	4.0 1.0
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	95 44.6%	84 39.4%	25 11.7%	3 1.4%	1 0.5%	5 2.3%	4.3 0.77	4.2 0.9
Q21.授業の満足度	86 40.4%	94 44.1%	26 12.2%	4 1.9%	1 0.5%	2 0.9%	4.2 0.77	4.2 0.9

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<観光産業学科専門科目>

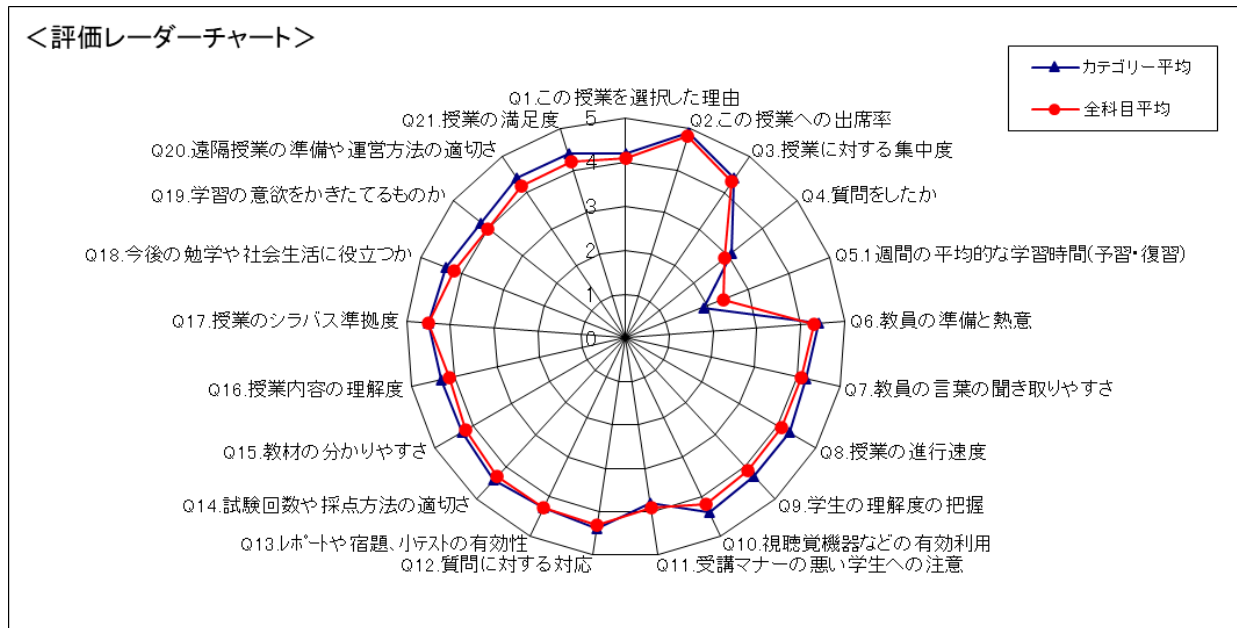
カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を上回る項目数は17項目（Q1.～4.、Q6.～10.、Q12.、Q14.～16.、Q18.～Q21.）であった。カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を下回る項目は、Q5、Q11であった。

カテゴリーの平均値がもっとも高いカテゴリーは、「Q2. この授業への出席率」の「4.9」であった。カテゴリーの平均値がもっとも低いカテゴリーは、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の「1.9」であった。すなわち、予習および復習がなされないまま、講義が進められていることを意味する。講義（シラバス）の到達目標には、1コマの授業に一定時間の予習および復習が「必要」であることを、教員、履修生ともに再認識する必要があると強く感じる。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	46 50.5%	28 30.8%	9 9.9%	6 6.6%	2 2.2%	0 0.0%	4.2 1.01	4.1 1.0	
Q2.この授業への出席率	83 91.2%	7 7.7%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.33	4.8 0.5	
Q3.授業に対する集中度	41 45.1%	41 45.1%	8 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	4.4 0.64	4.3 0.8	
Q4.質問をしたか	14 15.4%	15 16.5%	25 27.5%	10 11.0%	11 12.1%	16 17.6%	3.1 1.28	2.9 1.4	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	8 8.8%	2 2.2%	6 6.6%	36 39.6%	39 42.9%	0 0.0%	1.9 1.17	2.4 1.1	
Q6.教員の準備と熱意	46 50.5%	35 38.5%	8 8.8%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	4.4 0.82	4.3 0.9	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	40 44.0%	32 35.2%	16 17.6%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	4.2 0.85	4.1 1.0	
Q8.授業の進行速度	45 49.5%	28 30.8%	17 18.7%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	4.3 0.84	4.1 0.9	
Q9.学生の理解度の把握	37 40.7%	32 35.2%	14 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 8.8%	4.3 0.73	4.1 0.9	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	48 52.7%	28 30.8%	9 9.9%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.5%	4.4 0.77	4.2 0.9	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	18 19.8%	2 2.2%	23 25.3%	1 1.1%	1 1.1%	46 50.5%	3.8 1.07	3.9 1.1	
Q12.質問に対する対応	43 47.3%	19 20.9%	11 12.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 19.8%	4.4 0.74	4.3 0.9	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	38 41.8%	41 45.1%	7 7.7%	1 1.1%	1 1.1%	3 3.3%	4.3 0.76	4.3 0.8	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	44 48.4%	23 25.3%	11 12.1%	2 2.2%	0 0.0%	11 12.1%	4.4 0.81	4.3 0.9	
Q15.教材の分かりやすさ	43 47.3%	36 39.6%	9 9.9%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	4.3 0.75	4.2 0.9	
Q16.授業内容の理解度	37 40.7%	44 48.4%	8 8.8%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	4.3 0.71	4.1 0.9	
Q17.授業のシラバス準拠度	48 52.7%	30 33.0%	4 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 9.9%	4.5 0.59	4.5 0.7	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	46 50.5%	34 37.4%	6 6.6%	2 2.2%	1 1.1%	2 2.2%	4.4 0.80	4.2 0.9	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	32 35.2%	43 47.3%	7 7.7%	3 3.3%	1 1.1%	5 5.5%	4.2 0.81	4.0 1.0	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	47 51.6%	32 35.2%	6 6.6%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.5%	4.4 0.73	4.2 0.9	
Q21.授業の満足度	49 53.8%	35 38.5%	4 4.4%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	4.4 0.73	4.2 0.9	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

自由記述では、良かった点をあげた回答が10件、改善を求める回答が4件であった。昨年のコロナ禍のなか非対面講義におけるさまざまな反省を踏まえて、今年度前期のオンライン講義については、教員もよりスムーズな運営に努めることができたことに加え、学生にとっても、オンライン講義が、ある程度抵抗なく受け入れている証と推察される。しかし、一方で、改善を求める回答のなかには、少数ながらオンライン講義への不満と、対面講義への再開を望む声があることも確認できた。



＜専門キャリアアップ科目＞

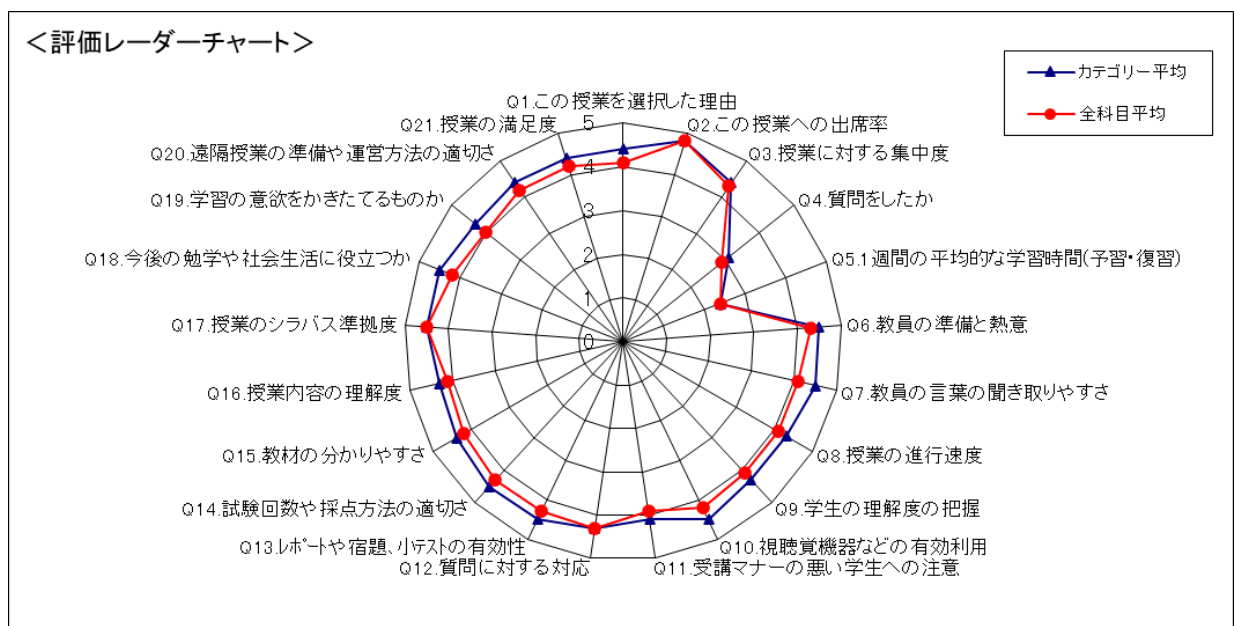
専門キャリアアップ科目も全科目平均と同様に「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、「80%以上」と回答したものが88.1%と大多数を占めています。「60%以上」も7.0%おり、出席率は大変良い結果となっています。対照的に「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」が大変低く、「1時間以上2時間未満」が41.3%、次いで「2間以上3時間未満」が25.9%、「1時間未満」が18.9%と続きます。Q5.の次いで低いのが「Q4. 質問をしたか」で、「どちらともいえない」28.7%、「ある程度質問した」23.8%、「あまり質問しなかった」17.5%となっています。資格試験を意識した専門キャリアアップ科目ですが「よく質問した」のは17.4%でした。

専門キャリアアップ科目のカテゴリー平均と全科目平均の項目別比較では、全科目平均を上回る項目がかなり多くなりました。「Q1. この授業を選択した理由」、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」、「Q21. 授業の満足度」で全科目平均を上回っています。「Q2. この授業への出席率」、「Q5. 1週間の平均的な学習（予習・復習）」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」は全科目平均並みとなりましたが、カテゴリー平均が全科目平均を下回った項目はありませんでした。

自由記述内容をみると「この授業で特に良かった点」では、「説明がほんとうにわかりやすかった点」、「動画の授業を行ったことで、何度も見返すことができたので、とても良かったです」、「細部まで事細かに説明をして貰っているのがとても助かっています。試験に出るところ以外にも社会に出てから役に立つ操作方法も教えて貰えるのでとても助かってます!」、「資料が豊富であること」、「緊急事態宣言期間はオンラインで受けることができ安心できた」、「公務員試験の対策に向けてのノウハウを知れたところ」といった意見が寄せられました。「この授業で特に改善してほしい点」では、「コースパワーで配布される資料が見つらいと感じた。コースパワーでの課題が課される時に設問の文章に誤字や脱字があることが何回かあったり、文面的に分かりづらい課題文であるなど感じるがあった」、「遠隔なのか対面になるのか対面になった場合の時間帯などの連絡がギリギリだったのでもう少し早いとありがたいです」、「オンラインも可能にするのであれば、それに応じた対応を最後までして欲しかった」、「講義にでない人は、テストの提出のみしかないこと」、「生徒の質問に対して、必要な情報以外を余計に詰め込んで答えがちな点」といった要望がありました。「その他の意見・要望」では、「複数教員担当でも、オフィスアワーに連絡先を入れて欲しい」等の意見・要望がありました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	83 58.0%	43 30.1%	7 4.9%	7 4.9%	1 0.7%	2 1.4%	4.4	1.0	
Q2.この授業への出席率	126 88.1%	10 7.0%	4 2.8%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	4.8	0.5	
Q3.授業に対する集中度	79 55.2%	53 37.1%	8 5.6%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	4.4	0.8	
Q4.質問をしたか	21 14.7%	34 23.8%	41 28.7%	25 17.5%	19 13.3%	3 2.1%	3.1	1.4	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	9 6.3%	11 7.7%	37 25.9%	59 41.3%	27 18.9%	0 0.0%	2.4	1.1	
Q6.教員の準備と熱意	85 59.4%	47 32.9%	8 5.6%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.4%	4.5	0.9	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	85 59.4%	48 33.6%	6 4.2%	3 2.1%	1 0.7%	0 0.0%	4.5	1.0	
Q8.授業の進行速度	74 51.7%	40 28.0%	29 20.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.3	0.9	
Q9.学生の理解度の把握	68 47.6%	51 35.7%	16 11.2%	3 2.1%	1 0.7%	4 2.8%	4.3	0.9	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	80 55.9%	52 36.4%	8 5.6%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	4.5	0.9	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	55 38.5%	14 9.8%	30 21.0%	5 3.5%	0 0.0%	39 27.3%	4.1	1.1	
Q12.質問に対する対応	67 46.9%	41 28.7%	19 13.3%	3 2.1%	1 0.7%	12 8.4%	4.3	0.9	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	80 55.9%	54 37.8%	8 5.6%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	4.5	0.8	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	83 58.0%	34 23.8%	12 8.4%	0 0.0%	1 0.7%	13 9.1%	4.5	0.9	
Q15.教材の分かりやすさ	76 53.1%	47 32.9%	11 7.7%	6 4.2%	1 0.7%	2 1.4%	4.4	0.9	
Q16.授業内容の理解度	66 46.2%	62 43.4%	12 8.4%	3 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.3	0.9	
Q17.授業のシラバス準拠度	82 57.3%	49 34.3%	7 4.9%	1 0.7%	0 0.0%	4 2.8%	4.5	0.7	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	84 58.7%	46 32.2%	11 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	4.5	0.9	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	75 52.4%	47 32.9%	14 9.8%	5 3.5%	1 0.7%	1 0.7%	4.3	1.0	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	77 53.8%	39 27.3%	17 11.9%	3 2.1%	0 0.0%	7 4.9%	4.4	0.9	
Q21.授業の満足度	78 54.5%	46 32.2%	16 11.2%	2 1.4%	0 0.0%	1 0.7%	4.4	0.9	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。



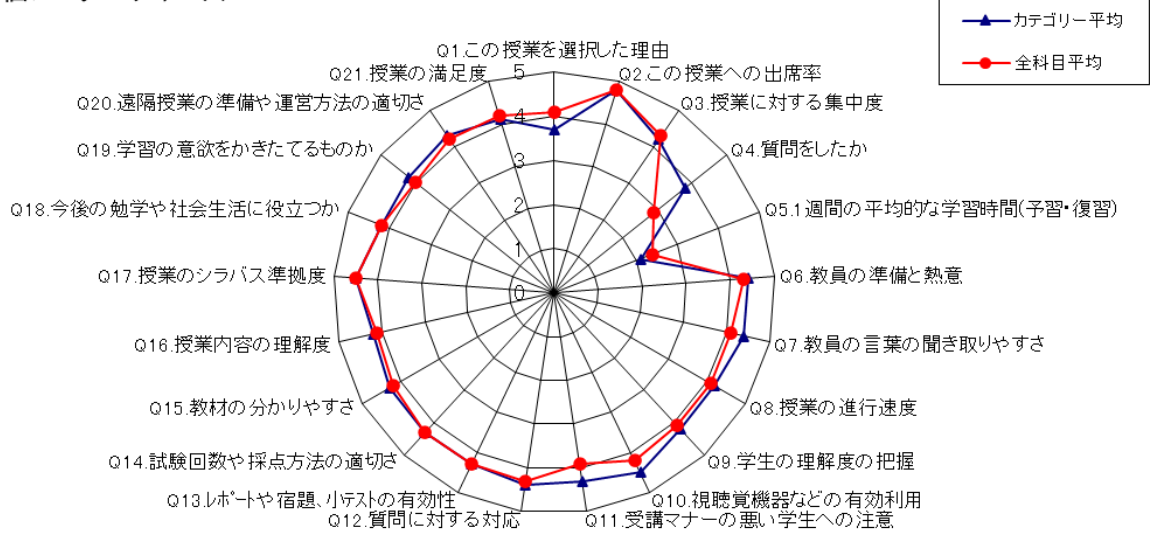
<教職科目に関する科目>

「教職科目」に関する授業評価の全体的な傾向は「全科目平均」と比較した結果、例年同様すべての項目において高い評価を得ています。そのなかで、唯一平均より下がってしまったのが、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」です。年度ごとの学生側の要因もあるかもしれませんが、今年はオンライン授業であったことが最大の要因でしょう。そもそも教育実習については緊急事態宣言により実習を受け入れることができない高校もありましたし、教室での一斉授業を念頭においた授業展開をオンライン上で説明したり議論したりすることも難しかったと思います。単なる講義形式の授業でないものが多いだけに、学生にとっても教員にとってもこのコロナ禍での授業は大変なものだったと推察されます。ただ、オンライン授業のスキル等は先の学校教育において必須の知識となっていくでしょうから、この経験を将来教師として活かしてほしいと願っています。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー		
Q1.この授業を選択した理由	6 22.2%	6 22.2%	15 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.7 0.82	4.1 1.0	
Q2.この授業への出席率	24 88.9%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.61	4.8 0.5	
Q3.授業に対する集中度	12 44.4%	11 40.7%	2 7.4%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.2 0.88	4.3 0.8	
Q4.質問をしたか	9 33.3%	6 22.2%	10 37.0%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	3.8 1.07	2.9 1.4	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	1 3.7%	2 7.4%	1 3.7%	18 66.7%	5 18.5%	0 0.0%	2.1 0.92	2.4 1.1	
Q6.教員の準備と熱意	14 51.9%	11 40.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.63	4.3 0.9	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	16 59.3%	6 22.2%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.87	4.1 1.0	
Q8.授業の進行速度	13 48.1%	10 37.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	4.2 0.99	4.1 0.9	
Q9.学生の理解度の把握	13 48.1%	9 33.3%	3 11.1%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.2 0.92	4.1 0.9	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	15 55.6%	11 40.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.57	4.2 0.9	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	10 37.0%	7 25.9%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 22.2%	4.3 0.77	3.9 1.1	
Q12.質問に対する対応	15 55.6%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.69	4.3 0.9	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	13 48.1%	12 44.4%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	4.3 0.86	4.3 0.8	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	12 44.4%	10 37.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	2 7.4%	4.3 0.92	4.3 0.9	
Q15.教材の分かりやすさ	12 44.4%	13 48.1%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.3 0.72	4.2 0.9	
Q16.授業内容の理解度	11 40.7%	13 48.1%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.2 0.83	4.1 0.9	
Q17.授業のシラバス準拠度	15 55.6%	8 29.6%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	4.5 0.69	4.5 0.7	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	13 48.1%	9 33.3%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	4.2 1.02	4.2 0.9	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	12 44.4%	12 44.4%	1 3.7%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	4.2 1.06	4.0 1.0	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	13 48.1%	11 40.7%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.3 0.93	4.2 0.9	
Q21.授業の満足度	11 40.7%	11 40.7%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	4.1 1.05	4.2 0.9	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



北海商科大学 教育方法改善員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161